

釧路南ロータリークラブ会報

第27回 例会報告 2010.1.22 通算1333回

・点

鐘

工藤会長

・会長挨拶

・ロタリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 工藤 ゆかり会員



皆様こんにちは。本日のプログラムはロータリー理解推進月間に因んでですが、少し私にもお話をさせて下さい。

1月のガバナー月信にロータリー理解のためのPRと言う事で、4ページに、広報・地区IT推進委員会の釧路北RCの石塚茂樹委員長が掲載されております。その中で、6大陸6カ国の一般市民を対象に行った最近のアンケート調査で、日本でのロータリーの認知度は3分の1という、とても低いものだったと言う事と、回答者の48%が「ロータリーは自分たちの為になる事をしている独善的な人々の集まりである」という答えだったそうです。独善的とは「自分一人が正しいと思う、ひとりよがり」という意味です。何とも悲しい実態でしょうか？

これからは、地域社会でより意識のあることをしていく事と、ロータリーへの認識を高めていく事、PRつまり広報が重要であると言っておられました。

皆様、ロータリー理解のため1月のガバナー月信の4ページを是非読んで頂きたいと思います。

・入会記念祝

太田 一男会員 H 19. 1. 26 (3年目)

・誕生祝

高橋 康成会員 S 19. 1. 22 (66歳)



・幹事報告



- * 2009年～2010年度 RI2500地区ガバナー事務所より来年6月のモントリオール2010年 RI 国際大会での「日本人親善朝食会」の参加希望者の登録申込のご案内が届いております。参加予定者はお申し付けください。
- * 本日、例会終了後理事会を開催いたします。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

太田 一男会員 入会記念祝として
高橋 康成会員 誕生祝として

出席委員会

会員25名 14名出席 56%

2008～2009年度の決算報告 会計 長江会員



・本日のプログラム

「ロータリー理解推進月間に因んで」

担当 ロータリー情報委員会

花田ロータリー情報委員長



「資料やクイズなどでロータリーの歴史・理念を学び、理解を深め合いました。」

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにあります。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四大奉仕部門

ロータリーの綱領に基づく 奉仕の四大部門 は、ロータリーの精神的な礎であり、クラブ活動がよりどころとする基盤です。

- **クラブ奉仕** は、親睦活動とクラブの機能を充実させることを主眼とします。
- **職業奉仕** はロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道德水準を実践することを奨励します。
- **社会奉仕** は、地域社会の人々の生活の質を向上させるためにクラブが行うプロジェクトや活動です。
- **国際奉仕** は、世界中におけるロータリーの人道的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動を含んでいます。

四つのテスト

以下の問いに示されたこのテストは 100 カ国語以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

使命

ロータリー・クラブの世界的連合体である国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高い倫理基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することです。

多様性とロータリー

国際ロータリーは、個々のクラブ内において多様性が重要であることを認識しています。会員に関する現行の指針の下、会員としての資格を備えた人々が地域社会にいるかどうかを調べ、幅広い層の人々をクラブへ入会させるべく努力するよう、ロータリーはクラブに奨励しています。職業、性別、年齢などの面で地域社会の実態を反映したクラブは、未来における発展の可能性を秘めています。

未来への躍進

2001-02 年度、国際ロータリーは、奉仕の第二世紀を迎え、組織の未来への指針となる長期計画の構想を描き始めました。2007 年 6 月に理事会が採択した 2007-10 年度 RI 長期計画では、次の 7 つの優先項目が特定されました。

- ポリオを撲滅する
- ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める
- 他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る
- 質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する
- ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する
- 国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する
- 組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する

「ロータリークイズ」

Q1：2009～2010 年度 R I テーマは何ですか？

Q2：2009～2010 年度 R I 会長は誰ですか？

Q3：ポール・ハリスは何年にロータリークラブを創設しましたか？

Q4：それはどこに創設されましたか？

Q5：最初のロータリー奉仕のプロジェクトは何でしたか？

Q6：四つのテストとは何ですか？

Q7：公式のロータリーの色は何ですか？

Q8：R I に何カ国加盟していますか？

Q9：世界のクラブ会員数は約何人ですか？

Q10：世界には何クラブありますか？

Q11：R I 世界本部は何処にありますか？

Q12：国際事務局は 7 カ国にあります、いくつ答えられますか？

Q13：R I のゾーン数はいくつでしょうか？

Q14：世界にはいくつの地区があるでしょうか？

- Q15：国際ロータリーはRIです、ではTRFは何の略称でしょう？
- Q16：TRFの恒久基金とは何ですか？
- Q17：シェアシステムとは何ですか？
- Q18：ニコニコBOXの起源は1905年第3回目の例会ですが、当時これを何と呼称したでしょうか？
- Q19：日本のロータリークラブの創始者は誰ですか？
- Q20：クラブ例会は毎週1回細則に定められた日時に定期的に関かなければならないが、例会日が法定休日に当たる場合、又はクラブ会長が死亡した場合、または全地域社会に渡って流行病、もしくは災害が発生した場合、理事会は例会を取りやめる事ができる、クラブ理事会は前記に明記されていない理由であっても、その裁量で1ロータリー年度で何回例会を取りやめる事ができるか？

「ロータリークイズ回答」

- A1：ロータリーの未来はあなたの手の中に
- A2：ジョン・ケニー（スコットランド、グランジマウスRC）
- A3：1905年（105年前）
- A4：米国イリノイ州シカゴ市
- A5：社会奉仕（シカゴ市に便所を寄付した）
- A6：四つのテスト。言行はこれに照らしてから
真実かどうか みんな公平か 好意と友情を深めるか みんなの為になるかどうか
- A7：ロイヤルブルーとゴールド
- A8：200を超える国（2001～2002年度は162ヶ国）
- A9：1,206,482人（2009年9月末現在、以下の数値は同じ）（2001年6月時点：1,188,492人）
- A10：33,575クラブ（2001年6月時点：30149クラブ）
・ローターアクトクラブ：7,838クラブ、180,274人 18～30歳の青年男女
・インターアクトクラブ：12,224クラブ、281,152人 高校生または14～18歳の青年男女
- A11：米国イリノイ州シカゴ郊外のエバンストン
- A12：アルゼンチン オーストラリア ブラジル

インド 日本 韓国 スイス

- A13：34ゾーン
- A14：531地区
- A15：ロータリー財団（The Rotary Foundation）
- A16：元金は使わず基金として積み立てられる。投資収益のみを財団プログラムに使う。その目標は最低限度のプログラム活動を継続する。
- A17：年次寄付と恒久基金収益の50%が地区財団活動資金（DDF）となり、50%が国際財団活動資金（WF）となる、DDFは地区が用途決定に発言権を持っている。WFはTRF管理委員会が用途を決定する。
- A18：ファインボックス
- A19：米山梅吉（1920年世界855番目に東京RCを創立し初代会長に就任した）
- A20：4回（但し、3回を越えて例会を開かないことがあってはならない：クラブ定款より）



・次回のプログラム

1月29日（金）

「ゲスト講話及び会長ミニ卓話」

会場 釧路ロイヤルイン11F

担当：社会奉仕委員会

・点

鐘

工藤会長

今週の会報担当：長井一広会員